

令和5年11月28日

電波利用環境委員会

CISPR B 作業班構成員 各位

**CISPR 11 の国内答申アドホックグループの設立について(案)**

CISPR B 作業班主任 久保田文人

**1. 背景**

CISPR 11 は現在、第 6.2 版 (2019) が最新版であり、有線ネットワークポートに対する要求事項やグループ 1 機器の 1GHz を超える周波数での放射エミッションの要件などを追加した第 7.0 版の FDIS が投票中 (期限 : 12 月 22 日) である。前回の国内答申は平成 26 年 3 月に第 5.1 版 (2010) を元としたもので 10 年近くが経過しており、それ以降、系統連系電力変換装置 (GCPG) に関する要求事項や FAR (6 面電波暗室) 等が導入されている。特に太陽光発電システムの普及に伴い、無線局への障害事例が複数確認されていることから、最新版の早期の国内答申が望まれる。

こうした状況を踏まえ、CISPR/B 作業班にアドホックグループを設置し、CISPR 11 の国内答申案作成作業を開始することとしたい。

**2. CISPR 11 答申案作成アドホックグループの設置**

答申案を作成するため、B 作業班内部に以下のアドホックグループを設置する。

(1) 名称 : CISPR11 国内規格答申アドホックグループ

(2) リーダ : (調整中)

(3) 構成員 : B 作業班構成員の希望者及び試験機関、関連工業会等からの希望者とする。具体的には以下の者である。(調整中)

**3. アドホックグループの検討対象**

CISPR 11 第 7.0 版を対象として、答申案を検討する。

**4. アドホックグループの作業項目**

CISPR 11 第 7.0 版の日本語訳、国際規格からのデビエーションの検討、答申案の作成を行う。

**5. スケジュール (調整中)**

令和 6 年 1 月 アドホックグループ立ち上げ

令和 7 年度中 一部答申

以上